

平成 27 年度 第 2 回市川市教育振興審議会

- 1 開催日時 平成 27 年 5 月 28 日（木） 14 時から 14 時 45 分
- 2 場 所 市川市教育委員会委員会室（南八幡仮設庁舎 2 階）
- 3 出席者（敬称略、順不同）
 - (1) 会 長 大熊 徹
 - (2) 副会長 佐藤 菊弥
 - (3) 委 員 油井 宏子・齊藤 雅代・ハリス 貴子・
晒科 里美・角谷 好枝・中村 ふじ江
 - (4) 事務局 田中 庸惠（教育委員会教育長）
石田 有記（教育次長）
永田 治 （教育政策室長）
牛尾 進一（教育政策課長）
石田 清彦（同課主幹）
中俣 智文（同課副主幹）・吉成 悟（同課主査）
山元 幸恵（学校教育部長）
千葉 貴一（生涯学習部長）・秋本 悦生（同部次長）
- 4 議 題 平成 26 年度の教育に関する事務の管理及び執行の状況の
点検及び評価に係る答申について
- 5 提出資料
 - (1) 平成 26 年度の教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状
況についての点検及び評価について（答申案）

【 1 4 時 開 会 】

○ 大熊会長

定刻となりました。

ただ今より平成 2 6 年度第 2 回市川市教育振興審議会を開催させていただきます。

本日の会議は、審議会委員 1 0 名のうち、2 名欠席ではございますが、市川市教育振興審議会条例第 6 条第 2 項の規定により、成立いたします。

それでは次第に入ります前に、事務局より本日の資料の確認をお願いいたします。

○ 牛尾教育政策課長

では、資料について確認させていただきます。

本日は、事前にお送りしております、「答申書（案）」1 点とお手元に置かせていただいた次第 1 枚でございます。

○ 大熊会長

ありがとうございました。

本日の議題は、「平成 2 6 年度の教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に係る答申について」でございます。

では、審議に先立ち、「市川市審議会等の会議の公開に関する指針」第 7 条の規定に基づき、本議題に係る会議を公開するかどうかを決定いたします。

事務局にお尋ねしますが、本議題に、同指針第 6 条に規定する非公開事由は、ございますか。

○ 牛尾教育政策課長

本議題につきましては、法令等で非公開とはされておらず、また、個人情報などの非公開情報も含まれておりませんことから、「市川市審議会等の会議の公開に関する指針」第 6 条に規定する非公開事由はございません。

○ 大熊会長

それでは、本議題については、非公開事由はないとのことですので、会議を公開することとしてよろしいかお諮りいたします。

いかがでしょうか。

○ 全委員

異議なし。

○ 大熊会長

ご異議なしと認めます。

それでは、本議題に係る会議を公開することと決定しました。

傍聴者の入場を認めます。

- 牛尾教育政策課長
只今のところ、傍聴者の申し出はございませんので、お進めください。

- 大熊会長
それでは、審議を開始します。次第１「答申」について
本日は、教育委員会から諮問された「平成２６年度の教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価」に対する答申について、決定したいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。
それでは、事前にお送りしております「答申書（案）」をご覧ください。
記載内容につきましては、５月２１日の第１回審議会において、調査審議した結果を要約したものとなっております。
本日は、この答申書（案）に、第１回審議会において委員の皆様からいただいたご意見が反映されているかを確認させていただきます。
では、答申書（案）について事務局から説明してください。

- 牛尾教育政策課長
では、答申書（案）についてご説明いたします。

【答申書（案）に基づき説明】

- 大熊会長
ご説明ありがとうございます。
それでは、この答申書（案）につきまして、ご意見はございますか。

- 全委員

【意見なし】

- 大熊会長
意見ではありませんが、７ページ、８行目。「改善された経験」を「改善された事例」に変えると良いと思います。

- 大熊会長
それでは、ご意見がないようですので、「平成２６年度の教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価」に対する答申について採決いたします。
この答申書（案）のとおり教育委員会に答申することに賛成の方の挙手を求めます。

- 全委員

【挙手】

- 大熊会長

賛成者多数です。

この答申書（案）のとおり教育委員会に答申することと決しました。

では、とりまとめ書及び答申書の提出準備を行いますので、その間、休憩いたします。

再開は、２時２０分からいたします。

○ 大熊会長

それでは、再開いたします。

○ 牛尾教育政策課長

では、大熊会長より、田中教育長へ

「平成２６年度の教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価」に対する答申を提出いただきます。

【「平成２６年度の教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価」に対する答申提出】

大熊会長、田中教育長ありがとうございました。

ここで、田中教育長よりご挨拶させていただきます。

【田中教育長 挨拶】

おかげさまで、今年度も審議会委員の皆様方の貴重なご意見を頂戴し、答申を得ることができました。誠にありがとうございました。

今後は、６月４日、木曜日の定例教育委員会において、答申を反映した点検評価報告書を提出する予定でございます。

○ 大熊会長

ありがとうございました。

次に、次第２「その他」に移ります。

今年度につきましては、予定されている審議会は、今回で終了となります。本日、ご欠席の渡邊委員・前田委員を含めて、１０人で審議会委員を務めてまいりましたが、本審議会が任期中の最後の審議会になると思われます。

つきましては、委員の皆様から、お一人ずつ、感想等をお願いします。

○ 大熊会長

２６年度の点検評価も審議会に出された意見を事務局で前向きにとらえていただいて、感謝しています。やりがいのある審議会でした。今年度は、これが最後ということで、委員の皆様、事務局の皆様に御礼を申し上げます。

最後に、担当者が精力的で、数日前に送ってもらったメールを間違えて削除したことを連絡したら、その次の日、すぐに同じメールを送っていただきました。その努力をこの場でお伝えいたします。

○ ハリス委員

ここに来るのをとても楽しみにしていました。話しやすい空気を皆さんが作っていただき、意見をすることも答申書案にわかりやすく書かれました。思いを汲んでいただいた事務局の皆様には感謝しています。学ぶことも知ることも多く、とても良い経験をさせてもらえました。

○ 中村委員

短い期間に案をまとめてもらえて、すばらしいと感心しています。良い雰囲気の中、会議ができ、たくさんの意見をわかりやすく取り入れてくれて感謝しています。最後というのは、なごり惜しいです。

○ 角谷委員

これだけの厚みのある資料の中に、これだけのことをして、子どもたちを教育していることは、すごいと思います。また、一番最初から関わってきた中で、わかりやすい言葉を使って欲しいと話してきましたが、だんだんわかりやすくなってきて、本当に読みやすくなってきました。

○ 晒科委員

今回の報告書は、とても読みやすくなっています。はじめのうちは、自分に何ができるのかと思っていましたが、少しずつ、こういう風に読んで、考えて、こんな意見を言おうというようになってきました。貴重な時間をいただいて、勉強する機会になりました。

○ 齊藤委員

審議会に参加することで、このような形で審議されていることをはじめて知りました。市川の教育を誇りに思います。また、いろいろな人と、審議会を通して出会えたことも財産になりました。

○ 油井委員

歴代の政策教育課担当の方々の優秀さ、誠実さ、事務局や教育委員会の皆様のご努力も含めて、市川市はすばらしいと思う7年間でした。毎回の分厚い資料を読むのが好きで、たくさんのことを勉強させてもらいました。当初は、わかりやすく納得できる文章にしてもらいたくて、言葉の使い方などについても、いろいろ意見を言ったり話したりしたこともありました。

前は出席できませんでしたが、多くの取り組みの成果があがった資料を読み、市川市の子どもたちは幸せだ、と思いました。また、市川市独自の取り組みもあってすばらしいと思います。

もう一つ話をさせていただきますと、私は江戸時代を専門にしていますが、システムは変わっても、教育の基本はどの時代も同じだと思っています。一人一人の子どもを丁寧に見ていくことだと思います。前回のこの審議会の時には、就学支援課の会議に参加していたのですが、誰に奨学金を渡せるかを話し合っていました。希望者みんなに渡せばいいのですが、そうはいかない。成績なのか、家庭状況なのか、そのどちらをより優先す

るかなどを話し合いました。

江戸時代には、その心配はありませんでした。寺子屋では、同じお師匠さんのもとでも、入ってくる一人一人の束脩（入門料）と謝儀（月謝）は、ばらばらなのです。払える人は払うけれど、金銭で払えない人は、大根 1 本でもよいのです。何が平等なのかという考え方が異なる。今の時代のように同じお金を払うことが平等なのか、経済状況に応じて払えばよいという考え方が平等なのか、根本の考え方が違うと認識しています。

なぜそれが可能かという、先生はそれで食べていないのです。寺子屋のお師匠さんには、檀家などからの収入があるのです。次世代を担う若い子どもたちを、地域の余力のある人々が教えているのです。今の時代ではできないことかもしれませんが、それをいかなせることがあるのではないかと考えることがあります。

○ 佐藤副会長

平成 25 年から校長会の代表として参加しました。事務局の準備等、本当にありがとうございました。今回の資料を隅から隅まで読みましたが、改めて、なるほどと思うことが書かれていて、勉強になりました。

教育いちかわ、教育長通信など、情報はたくさんあると思いますが、校長も含めて教職員は、なかなか読み込めていないこともあります。書類だけで終わらずに、教職員、保護者、市民一人一人など多くの人の目にふれるようになると良いと思います。

最後になりますが、自分が若い頃、教育委員会に対して、温度差があると感じていました。これからも学校にいるものとともに考えていければ良いと思います。

○ 大熊会長

ありがとうございました。

それでは、これをもちまして、第 2 回市川市教育振興審議会を終了いたします。

どうもありがとうございました。

○ 牛尾教育政策課長

最後になりますが、田中教育長からご挨拶させていただきます。

【田中教育長 挨拶】

【14 時 45 分 閉会】